



研修医新聞

Vol.32

2013年3月28日発行



ミニタウンミーティング



訪問看護



ホームステイ



訪問診療

東京大学医学部附属病院 初期研修医の堀内崇真です。

約1ヶ月間紀南病院で地域医療研修をさせていただき、ありがとうございました。
2年間の初期研修のほぼ全て東大病院で過ごしてきたので、この約1ヶ月間は非常にギャップに悩む時もありました。『その地域のニーズに合った医療をする』ということを感じました。大学ではいかに難病と最先端の勝負をするかということですが、ここでは決してそればかりではなく、安心感を与える等の様々な医療ニーズがありました。よって患者さんの生活背景にも重きを置いて治療計画を立てていました。

4月からは東京の日赤医療センターで泌尿器科医として勤務予定です。研修担当の奥野先生、指導医であった辻先生を初め、お世話になった多くの先生方、スタッフ、事務の方々、本当にありがとうございました。今後は「この先生なら大丈夫や！」って言われるように頑張りたいです。1ヶ月間何かと御迷惑をおかけしましたが、本当にありがとうございました。



堀内崇真



伊藤浩司

三重大学医学部附属病院 研修医2年目の伊藤です。

2ヶ月間という短い間でしたが指導医の先生方含め大変お世話になりました。地域医療研修として多くの病院・施設を経験させて頂き、この地方が抱える医療問題について深く考えさせられました。

3年目は市立伊勢総合病院 神経内科で働かせて頂きます。それ以降も三重県で働くことになると思うので、いつかは紀南病院で働くなんてこともあるかもしれません。



栗原康輔

四日市社会保険病院から来ました栗原康輔です。

2ヶ月の研修もあっという間に終わってしまいました。奥さんの祖父母が紀南で生活されていることもあり、奥さんと子どもを連れてきて3人で過ごさせていただきました。そのお陰でいろいろな方とご縁があり、3年前に学生実習で来た時と比べて、紀南を身近に感じる事ができました。人と人との繋がりの暖かさを感じることができた2ヶ月間でした。

お世話になった全ての方々にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。4月からは、三重県で小児科医として働くことになるので、またお世話になることがあるかもしれませんが、その際は宜しくお願いいたします。



眞鍋葉子

3ヶ月間大変お世話になりました、東京大学医学部附属病院より参りました眞鍋葉子です。

3ヶ月間、スタッフの皆様および地域の皆様の、エネルギッシュなご指導およびサポートのおかげで、右も左も分からなかった私が、自分なりになんとか歩くことができるようになりました。

紀南病院での研修は2年の研修期間のうち3ヶ月間でしたが、将来、後輩に「先生はどこの病院で研修なされたんですか」と聞かれたら、「紀南病院」と答えたいです。それくらい、沢山のあたたかいご指導と、3ヶ月とは思えない濃い学びを頂きました。とても鍛えて頂きました。

紀南病院の先生方は東京の医師とは比べ物にならないくらい凄腕です。かつ人格的にも大変魅力的な方ばかりでした。このような先生方が守っている地域は幸せだなあと感じました。そして、スタッフの皆様ひとりひとりが志に燃えて輝いており、とてもかっこいい病院だと思います。

春からは総合内科医として都立病院で勤務します。こちらでいただいた御恩と学びを、一生、決して、忘れません。スタッフの皆様・地域の皆様のますますのご発展とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「紀南病院の」2年目研修医 眞鍋葉子

注：編集者の希望で伊藤先生の趣味の時計を載せさせていただきました

